

北方文化博物館

設立 80 周年記念事業

早津 剛 特別回顧展

令和 7 年 10 月 13 日（月祝）～令和 8 年 2 月 23 日（月祝）

10 月 13 日(月祝)のご案内

10:30 開会セレモニー(関係者)

11:00 記念講演会 早津 剛 氏

「八代伊藤文吉との思い出を語る」

12:00 展覧会見学

*どなたでもご参加いただけます(要入館料)

*セレモニーは関係者のみが対象です

―彼(早津剛)がひたすら消えゆく山
間へき地の越後の民家を執念と愛着
をもって追跡し、描き続けている高
校教師と知って驚いた。(中略)歴史
を秘めた美しい民家は全ての日本人
の心の故郷である。人々が共に助け
合い、作り上げた手造りの芸術でも
ある。
(個展に寄せた故八代伊藤文吉の挨拶)



豪農の館外観

和紙に墨

45×39.5 (cm)

半世紀にわたり県内外の古民家のある風景を描き続けた早津 剛さん。その時にしかない風景との出会いを、心の動くまま絵筆に込めて描き上げた作品の一つ一つが、消えゆく風景を人々の記憶と心に呼び起こします。故・八代伊藤文吉の熱心な応援を受け、親交を深めた早津さんは、豪農の館・北方文化博物館の姿も数多く描きました。今年、新たに寄贈いただいた6点を含め、当館が所蔵する早津剛さんの作品約30点をあらためて紹介するとともに、昭和21年2月に博物館として再スタートしてからまもなく80周年を迎える豪農の姿を、作品を通して振り返りたいと思います。

【早津 剛 略歴】

- | | | | |
|-------|-------|---------------------------|---------------|
| 1938年 | 昭和 13 | 南魚沼郡六日町生まれ | |
| 1960年 | 昭和 35 | 独立展初入選 | スケッチをする早津氏▶ |
| 1961年 | 昭和 36 | 新潟大学教育学部芸能科卒業 | (佐渡・宿根木 2018) |
| 1966年 | 昭和 41 | 銀座・櫛画廊にて個展 | |
| 1968年 | 昭和 43 | 雪国を中心としたカヤブキ民家の制作にとりかかる | |
| 1971年 | 昭和 46 | 大和デパート(長岡)にて「消えゆく民家を描く」個展 | |
| 1975年 | 昭和 50 | 新宿伊勢丹本館美術画廊にて「雪国の民家を描く」個展 | |
| 〃 | 〃 | 丸専デパート新潟画廊(長岡)にて | |

大沢和紙による水墨「雪と民家」個展

各地で雪国の民家をテーマに個展を開催



北方文化博物館 新潟市江南区沢海 2-15-25 TEL025-385-2001

(公式ホームページ <https://hoppou-bunka.com/>)

開館時間 9:00～17:00 (12～3月は～16:30) **休館日** 火曜日 (4.5月及び10.11月は無休)

入館料 大人 800円 小中学生 400円 (日曜・祝日に限り、小中学生は入館無料) **駐車場** 無料